

大中尾棚田を守ろう

アクアソーシャルフェス



田植えに挑戦する大学生ら ー長崎市、大中尾棚田

長崎市外海地区の大中尾棚田で5日、環境保全イベント「アクアソーシャルフェス!!2016 里山と棚田の風景を守ろう」(長崎

新聞社主催)があり、大学生ら180人が田植えに挑戦した。同棚田は日本の棚田百選にも選ばれた景観で知ら

れ、約8・9畝の面積に450枚の田んぼが広がる。イベントは高齢化する農家に労働力を提供し耕作放棄地になるのを防ごうと2014年から毎年開催。県内4大学の学生や家族連れらが参加した。

用意された3枚の田んぼに入った参加者は、慎重な表情で稲を植えていった。長崎総合科学大2年の野田僚太さん(19)は「土の感触が楽しい。生態系を保全する役割も果たす棚田を守る活動に役立ちたい」と話していた。

イベントは、大中尾棚田保全組合と長崎市が共催、県内のトヨタ自動車販売店などが協力した。(犬塚泉)

秋の収穫楽しみに 各地で田植え